

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	01030201	区 分	<input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	消防団運営事業	担当部署名	総務課
		作成責任者職氏名	課長 森田 洋文
		内線	221
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	01安全・安伸・環境	03消防・救急体制の充実	02消防団との連携強化
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (S39年度から)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村消防団条例
		義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的</p> <p>千早赤阪村内における消防団員の任免、定員、服務、給与その他の事項について円滑な運営を図ることを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>消防団員の任免、定員、服務、給与、その他の事項を処理する。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか)</p> <p>村内消防団7分団</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)</p> <p>適正な消防団運営を図ることにより、地域の消防力の向上が図れる。</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題</p> <p>分団に配備している車両管理の検討、消防団員の高齢化など。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	9,820	7,866	7,866	10,892	8,000			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財	936	1,148	1,148				
一般財源	8,884	6,718	6,718	10,892	8,000			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551		
総コスト費(千円)(A+C)	12,371	10,417	10,417	13,443	10,551			
人口あたりコスト(円)	2,041	1,719	1,719	2,218	1,741			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	消防団活動(定数)	人	85	80	94%	85	85
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 94% / 1 = 94% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	消防団の団員数などは平成19年に定数の見直しを行い、適正に消防団の活動を行っている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	消防団は、村の消防、防災に寄与している。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	地区ごとに消防団員を任命しているが、地区によっては、団員の確保が難しい地区がある。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	地区ごとに消防団員数を決めているため公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	15 / 16	94%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
94%	94%	94%	a
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
地域における消防力・防災力の向上のために不可欠な事業であり、継続すべき事業である。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
消防団は、常備消防と同様に地域防災力の中核として重要な役割を担っており、その公共性は極めて高く、総合計画における安全・安心・環境の施策展開に必要な不可欠な団体である。今後も消防団活動が促進され、災害現場対応はもとより地域行事への参加など地域貢献にも大きな成果を得られると期待されることから費用対効果も適切であり、継続して実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
消防団は、常備消防と同様に地域防災力の中核として重要な役割を担っており、その公共性は極めて高く、総合計画における安全・安心・環境の施策展開に必要な不可欠な団体である。今後も消防団活動が促進され、災害現場対応はもとより地域行事への参加など地域貢献にも大きな成果を得られると期待されることから費用対効果も適切であり、継続して実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止